



## モーターサイクル用ブレーキがよりスマートに ボッシュがアンチロック・ブレーキ・システムの 追加機能を提供 安全性をいっそう向上させるソフトウェアとセンサー類

2012 年 9 月

PI 7923 CC Ks/af

- ▶ ボッシュのモーターサイクル用 ABS Generation 9 の新機能
- ▶ オールテラインモーターサイクルに合わせた ABS オフロードコントロール
- ▶ トラクションコントロールによりオン/オフロードで発進時と加速時の安全性が向上

ボッシュはモーターサイクル用 ABS Generation 9 で、それぞれのモーターサイクルクラスに合わせて拡張可能なブレーキコントロールシステムを実現しました。新しい機能が複数追加され、モーターサイクルメーカーのニーズに合わせて安全性をさらに高めるソリューションを提案できるようになりました。たとえば、エンジニアは Generation 9 の幅広いバリエーションにオフロードバージョンやトラクションコントロールシステムを追加することができます。2013 年に初めて、2 つの機能が KTM の 1190 Adventure と 1190 Adventure R に搭載されることになりました。ボッシュのモーターサイクル用セーフティシステムを担当するイリディーリム・フェヴジイ (Fevzi Yildirim) ゼネラル・マネージャーはこう述べます。「モーターサイクル用 ABS Generation 9 には豊富なバリエーションと各種の追加機能が揃っているため、あらゆるモーターサイクルメーカー、そしてエンドユーザーのご要望にお応えすることができます」

### オフロードコントロール機能付き ABS – 荒れた路面での安全性が向上

舗装道路とかけ離れた荒れた路面でのモーターサイクルの運転は、ABS システムの限界を試すようなものでした。舗装道路用に設計されたシステムでは、砂地や荒れた路面で適切なブレーキ性能を保つことも、オフロード走行の楽しさを存分に味わうこともできないからです。これに対処すべく、ボッシュのエキスパートたちは、荒れた路面での使用を想定した特殊なオフロードコントロール機能を開発しました。この機能は、ボッシュのアンチロック・ブレーキ・システム Generation 9 ABS plus と ABS enhanced に組み込むことができるようになっています。そのため、オールテラインモーターサイクルの安全性がいっそう向上するだけでなく、ライダーはオフロードで妥協した走りをせずすむようになります。

ポッシュが開発したこのオフロードコントロール機能では、ブレーキ値とその他のパラメーターが調整されるため、荒れた路面でも最適なブレーキ性能を発揮できます。この調整により、ABS は通常より遅れて作動します。このため、道路用に設計された ABS に比べてタイヤと路面の間がより滑りやすくなりますが、後輪が路面をしっかりキャッチでき、荒れた路面でもブレーキ性能が向上します。

また、車体の安定性にマイナスの影響を与えることなく、前輪の制御によりさらに強く減速させることができます。モーターサイクルメーカーは、ライダーが後輪を意図的にロックし、タイトコーナーで行うドリフトやテールスライドなど、オフロードレースの典型的な走りを楽しめるようオフロードコントロール機能を調整できます。

### **トラクションコントロール機能付き ABS – 加速時の安全性が向上**

ポッシュの ABS で最適化できるのは、モーターサイクルのブレーキ性能だけではありません。ポッシュのトラクションコントロールと組み合わせれば、加速時の後輪のスピンを防ぎ、前輪の浮き上がりを抑えることができます。Fevzi Yildirim は革新的な機能の利点についてこうまとめます。「ポッシュのトラクションコントロールは舗装道路での安全性に寄与してきましたが、今回初めて、荒い路面でも同じようにその威力を発揮できるようになりました」。なお、このトラクションコントロールはポッシュの Generation 9 のあらゆる 2 回路システムに組み込むことができます。

モーターサイクルメーカーがポッシュの傾斜角センサーを追加した場合には、トラクションコントロールによってコーナーでの最大駆動力を制御することも可能になります。このセンサーを装備したセーフティシステムは、マシンの動的状態を 1 秒間に 100 回チェックし、傾斜やリーン角だけでなく、垂直加速度も計算するからです。また、トラクションコントロールをダートレース用のモトクロスマシンに合わせて調整することもできます。

### **ブレーキングと車両ダイナミクス制御システムに革新をもたらす リーディング・サプライヤー**

自動車機器テクノロジーの世界的なリーディング・サプライヤーとして、ポッシュはブレーキングと車両ダイナミクスに関するイノベーションで車両の安全性に大きく貢献してきました。1978 年にポッシュが世界で初めて乗用車用電子制御アンチロック・ブレーキ・システムを発売して以来、車による死亡事故件数は著しく減少しました。1986 年には、ABS プラットフォームをベースに、同じくポッシュが開発したトラクションコントロールシステム(TCS)が続き、1995 年にはエレクトロニック・スタビリティ・コントロール(ESC)も発売されました。

ポッシュは、セーフティシステムのノウハウをモーターサイクルの技術にも活かしています。ポッシュの初めてのモーターサイクル用 ABS は 1994 年に量産がスタートし、モーターサイクルに合わせて初めて特別に開発した、今でも世界最小を誇る ABS は 2010 年に発売されました。なお、この ABS は二輪の安全性を強化するために、日本のポッシュ・コンピテンス・センターで開発されました。ポッシュのシャシーシステム・コントロール事業部長のヴォルフガング・ヒラー(Dr. Wolfgang Hiller)はこう述べます。「モータ

一サイクルの事故の47%は不適切なブレーキングやブレーキング時の躊躇が原因です。モーターサイクルの安全性はABSによって大きく向上します」。量産に向けてボッシュのエンジニアが徐々に開発を進めてきた数々の新機能により、今後は安全性と快適性がいっそう向上するのは間違いありません。

プレス写真:1-CC-18732

**広報担当窓口:**

Stephan Kraus、Tel +49 711 / 8 11 – 62 86

自動車機器テクノロジーセクターはボッシュ・グループ最大の事業セクターです。2011年の売上高は304億ユーロで総売上高の約59%を占めています。自動車機器テクノロジーにより、ボッシュ・グループはリーディング・サプライヤーのひとつになっています。全世界の約175,000人の自動車機器テクノロジーセクターの従業員が、内燃機関用噴射技術、パワートレイン周辺機器、代替駆動コンセプト、アクティブ/パッシブセーフティシステム、ドライバーアシスタンス/コンフォート機能、車載情報通信システム、オートモーティブアフターマーケット向けのサービスや技術という7つの事業分野で働いています。ボッシュ・グループは、電気駆動マネジメントや横滑り防止装置ESC、ディーゼルシステム用コモンレールなどの重要な自動車技術の革新にも対応しています。

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディング・カンパニーです。2011年度は、自動車機器テクノロジー、産業機器テクノロジー、消費財そして建築関連テクノロジーのセクターにおいての従業員数は30万人以上で、売上高は約515億ユーロです。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH およびその子会社350社超と、世界の約60カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されています。販売、サービス代理店のネットワークを加えると、ボッシュは世界の約150カ国で事業展開しています。この開発、製造、販売、サービスのグローバル・ネットワークが、私たちのさらなる成長の基盤です。ボッシュは2011年、研究開発費として42億ユーロを投資し、全世界で4,100件以上もの国際特許の基礎特許(第一国出願)を出願しています。ボッシュはすべての製品とサービスにおいて革新的で有益なソリューションを提供することによって、人々の生活の質(Quality of Life)を向上させ、循環型の持続的環境社会(Sustainable society)の創出に寄与していきます。

さらに詳しい情報は [www.bosch.com](http://www.bosch.com) ボッシュ・グローバル・ウェブサイト(英文) [www.bosch-press.com](http://www.bosch-press.com) ボッシュ・メディア・サービス(英文)を参照してください。